

第2学年 防災×STEAM(総合・理科・社会・国語)学習計画

指導と評価の計画 (43時間取り扱い 総合21時間+理科8時間+社会10時間+国語4時間)				
課題 「地域に学んで考える、地域に役立つ防災」				
時	項目	目標	学習活動	評価規準
① 総合	1. 学習課題の設定	理科での気象や地震等の学習を踏まえて、自分が調べたい災害を選び、課題を自分のものとする。	① STEAM教育への取り組み方の説明を聞き、課題を掴む。 ② 自分が取り組む内容を考え、希望調査を提出。	総知 課題の解決に必要な知識やを身につけている。
② 理科	2. チームごと見通しを持ち情報収集を始める 理科 4章大気 の動きと日本の四季 3 天気の変化がもたらす 恵みと災害	一人ひとりがチームで取り組みの方向性をつかむ。目的意識を持って情報収集活動を進める。	① チームのメンバー発表 ② ルーブリックについて説明を聴く ③ チームで活動内容の話し合い ④ 情報収集を進める	理主 主体的に話し合い活動に参加し、活動内容を深めようとしている。
③ ⑥ 理科	3. 発表に向けて各チームごとに取り組む	情報を集め、その情報を整理・分析して発表内容を決め、スライド作成等の発表準備を行う。	① 情報収集 ② 整理・分析 ③ 発表内容の決定 ④ 発表資料の作成 ⑤ 発表準備	理知 発表に必要な適切な情報を獲得している 理思 分析した情報をもとに発表資料を作成している
⑦ ⑧ 理科	4. 学級内で発表する	学級内で発表を行う。ルーブリックを使って他のチームの発表を相互にパフォーマンス評価する。	① パフォーマンス評価について説明を聞く ② チームごとに発表 ③ 他チームを評価	理思 理科の学習をさらに深めた発表内容になっている
⑨ 理科	5. 振り返りと改善	他チームからのフィードバックを整理・分析して、自分たちの発表を改善する。	① チームごとに評価を集計 ② フィードバックをもとにチームで話し合い ③ スライドを改善して提出	理思 フィードバックをもとに、発表を振り返り、改善している。
⑩ 社会	6. 社会のオリエンテーション 社会 2章日本の 地域的特色 5 自然災害に 対する備え	社会で、「災害から多くの命を守るためにはどうすればよいか」の課題を設定し、活動方法を考える。	① 動画等を見て、次の課題を設定する。 ② 理科での取り組みをもとに活動方法を話し合う。	社主 課題を設定し、話し合いを通して主体的に活動方法を考えている。
⑪ ⑫ 社会	7. 発表に向けて各チームごとに取り組む	集めた情報を整理・分析して伝えるべきことを見つけ、それが聞き手に上手く伝わるよう工夫していく。	① 情報収集 ② 整理分析 ③ 発表内容の決定 ④ 発表資料の作成 ⑤ 更に工夫を加える	社知 発表に必要な適切な情報を獲得している。 社思 分析した情報をもとに発表資料を作成している。

⑰ ～ ⑳ 国語	8. プレゼンテーションを国語で学習 国語 2章多様な視点から魅力的な提案をしよう	国語で、より良いプレゼンテーションについて考え、作成中のプレゼンを改善していく。	① 全国大会などで入賞したプレゼンを参考に、よいプレゼンについて探究していく ② リハーサルを行い、①をもとに足りない部分を改善していく	国思 資料や機器を用いるなどして、提案内容がわかりやすく伝わるように工夫している。 自分の考えが明確になるように話の構成を工夫している
㉑ ・ ㉒ 社会	9. 学級内で発表する	学級内で発表を行う。ルーブリックを使って他チームの発表を相互にパフォーマンス評価をする。	① ルーブリックの内容を確認する ② チームごとに発表。他チームの発表を、パフォーマンス評価する	社思 公助・自助・共助の観点を盛り込んだ防災対策を提案している。 国思 目的や場面に合った提案愛用を検討している。
㉓ 社会	10. 振り返りと改善	フィードバックを整理・分析した結果をもとに、自分たちの発表が、聴き手である学級のみみんなの役に立っていることを実感する。	① ロイロで共有した、自分たちの発表に対する他チームの評価をまとめる。 ② ①をもとに、自分たちの発表の成果やそこから学んだこと、さらに次の課題について考える。	社主 フィードバックをもとに、防災対策や災害時の対応について、次の課題を見つけようとしている。
㉔ ㉕ 総合	11. 地域の防災クラブの方の講演	防災クラブの方の講演を聴いて感想をまとめ、次の課題への手がかりにする。	① 防災クラブの方から、防災についての考え方や、熊本地震等での黒髪地区の取り組みについて講演を聴く ② 感想文を書いて学んだことをまとめる	総思 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立てている。
㉖ ㉗ 総合	12. 2学期のオリエンテーション	講演会の感想文などをもとに、これから取り組む課題についてチームで話し合い、学年全体で決定する。	① 1学期の振り返り ② 次の課題をチームで話し合い ③ 学年全体で意見を交換し、課題を決定する	総主 探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。
㉘ 総合	13. 次の活動内容についてチームで話し合い	チームで活動内容について話し合い、一人ひとりが活動の方向性をつかむ。	① 避難訓練とこれからの活動について説明を聴く。 ② チームごとに活動内容を話し合う ③ 必要に応じて先生に相談する。	総主 探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。
㉙ ～ ㉚ 総合	14. 課題解決に向けて、チームごとに活動する。	身近な地域の防災への取り組み等を参考に、更に情報を収集して、地域の役に立つ活動を考える。試行錯誤をくり返し、より良い活動を目指す。	① 情報収集し考えを深める ② 課題の解決方法を探る ③ 発見した活動に取り組む ④ ③をもとに活動を改善する ⑤ 発表の準備をする	総知 課題の解決に必要な知識や技能を身につけている。 総思 集めた情報を、自分なりに整理分析している。

<p>③⑨ ④① 総</p>	<p>15. 地域避難訓練の中で、自分たちの活動を実行する。</p>	<p>準備した活動を行い、必要に応じて工夫改善する。地域の人々から受ける印象や感覚を記録する。</p>	<p>① チームごとに準備した活動を行う。 ② 参加者から評価や感想等のフィードバックをもらう</p>	<p>総主 互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。</p>
<p>④② ④③ 総合</p>	<p>16. 活動の振り返り</p>	<p>避難訓練での活動を振り返り、まとめたものを発表する。自分の成長とチームの成長、新たな課題を掴む。</p>	<p>① 避難訓練の活動をもとに、総括発表の準備をする。 ② 教室内発表を行い、相互評価を行う。 ③ 新たな課題を見つける。</p>	<p>総知 課題に関わる考えを豊かにし、探究的な学習のよさを理解している。 総思 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立てている。</p>